

常に勉強 現場主義

古河市議会議員

いずみ

さとう 泉



令和5年春号

議会報告

日頃は暖かいご支援を賜り心から感謝申し上げます。
皆様のおかげで、29歳の時（平成15年4月）に初当選させていただいてから20年（5期）お世話になりました。
41歳の時に議長に就任し2年2か月間に7つの改革を提案し、実現いたしました。
これまでにどんな結果が残せたのかご報告させていただきます。
これからも古河市発展のため、ご指導ご協力を宜しくお願いいたします。



弱者優先の政治を！

(子ども・高齢者・障がいをもった人)

プロフィール

- ・昭和48年8月20日生まれ
- ・古河第三小学校、古河第三中学校、総和高等学校
東京科学電子工業専門学校、白鷗大学法学部法律学科卒業
- ・大学卒業後、研究生として福岡政行研究室で政治学を学ぶ
- ・研究生修了後も政治評論家、福岡政行先生に師事
- ・平成15年4月より古河市議会議員（29才の時に初当選）現在5期目
- ・第10代古河市議会議長（41才の時に就任）
- ・文教常任委員長、厚生常任委員長、文教厚生常任委員長 歴任

【現在】

- ・第3地区（旭、下一、下二、下三、住吉町）相談役
- ・コミュニティ団体「サンゴの会」/下三自治会 相談役
- ・古河婚活支援会 会長（茨城県マリッジサポーター）
- ・古河市動物愛護協議会 顧問（茨城県動物愛護推進員）
- ・パトラン古河チーム 顧問
- ・社会福祉法人 古河市社会福祉協議会 理事
- ・さしま環境管理事務組合議会監査委員
- ・株式会社 清和企画 代表取締役



福岡政行先生に政治学を学びました

政治学者で白鷗大学名誉教授、福岡政行先生（TVタックル等テレビ番組でおなじみの）に師事し政治学を学びました。

さとう 泉 事務所

古河市東本町 3-7-9

電話 / ファクシミリ：0280-31-2863

Eメール：info@satoizumi.com

ウェブ：www.satoizumi.com

さとう 泉 ブログ

検索

SNSで発信中！



実現できました!! (令和5年度予算に反映されました)

- ・障がいを持った児童生徒への特別支援教育支援員の増員。(7人増員 41人→48人)
- ・古河市サッカー場のトイレ改修。
- ・農業用廃ビニール・廃プラ処分費への補助制度の導入。
- ・新生児訪問事業における助産師活用
- ・「産後ケア事業」のさらなる推進と開業助産師の活用
- ・妊婦向けクラス「安産教室」の事業設置



一般質問、代表質問や要望等で実現!!

「PCR検査助成制度」「自宅療養者へ食料支援」を政策提案

**PCR検査費
来月から助成**
古河市
古河市は10月から、新型コロナウイルス感染症拡大を受けた支援策の一環として、PCR検査を自費診療で受けた市民に対し費用の一部を助成する。助成は1



PCR検査費
来月から助成
古河市は10月から、新型コロナウイルス感染症拡大を受けた支援策の一環として、PCR検査を自費診療で受けた市民に対し費用の一部を助成する。助成は1

回限りで、上限2万円。市健康づくり課で同月11日から受け付けを始める予定。
対象者は、検査と申請の両方の時点で同市に住居登録がある人。対象期間は10月1日～来年3月末。医療機関での検査実施を証明する明細書と領収書、市の申請書、振込先の口座が分かるキャッシュカードか通帳のコピーを添え、同課に持参か郵送で提出すると助成が受けられる。
医療機関は市内外を問わない。申請書は市ホームページに掲載する予定。
郵送先は〒306-0221 古河市新久田2-7-1の1 古河福祉の森会館内同課。問い合わせは☎0280(48)6080。

令和3年9月29日 茨城新聞

**コロナ陽性者支援
食料や日用品配送**
古河市
古河市は27日から、自宅療養している新型コロナウイルス陽性者と同居家族を支援するため、希望者に対する食料品や日用品の無償配送を始めた。申し込みから翌日までに、1人当たり1日3食、5日分がセットで届けられる。
市福祉推進課によると、支援品は飲料水やパックご飯、レトルト食品、缶詰などの食料とごみ袋、トイレトペーパー、ボックスティ

イッシュペーパー。必要に応じて子供用紙おむつや粉ミルク、生理用品も送る。同課が希望者から電話で連絡を受け、市職員が「置き配」により届ける。
対象者は同市の住民基本台帳の登録者で、保健所の指示により自宅療養している陽性者で、濃厚接触者と判断された家族。県の配食サービスを受けている人は除く。支援は1回限り。
対象者に外出を避けてもらい、感染拡大を防ぐのが狙い。実施期間は来年3月まで。事業費は500万円。

令和3年9月28日 茨城新聞

円で、800人分を用意した。支援希望や問い合わせは同課☎0280(92)5771まで。



令和4年3月定例会代表質問

令和4年度は雨漏り改修工事が完了しました。

令和5年度は、和式トイレから洋式トイレに変わる予算が付きまして。少しずつですが、環境整備を進めていきます。



コロナ対策として各所にサーマルカメラを設置

代表質問にて古河市サッカー場の窮状を訴え、改善の要望を行いました。



雨漏り改修工事が完了



※写真はイメージです。

老朽化した古河第三小学校児童クラブは校舎内に新設、
3月15日に工事完了し、4月から利用開始されます。



4月から利用開始される古河第三小学校児童クラブ



古河三小校庭の水はけが悪く、運動会が三小だけ次の日に延期された経緯があり、校長、教頭、PTA会長、副会長、学校教育施設課と私が立ち会い、令和4年6月22日に現地確認しました。



令和4年11月30日グラウンドの東側低地改修を実施し、
不陸調整工事が完了しました。
担当課の迅速な対応に感謝いたします。



令和元年の台風19号被害の時も、三小校庭は水没し、
避難場所として校庭が使えませんでした。



ごみ集積所まで家庭ごみを出すことが困難な家庭の支援策として、
家庭ごみを自宅の前まで収集に来ていただけることになりました。



さらに、高齢者、障がい者家庭については、料金(500円)を無料にできないか要望しています。

子育て支援・教育

日赤病院跡地の利用について(上辺見保育所の移転計画をしてはどうでしょうか?)

H20年12月17日(H20年第4回定例会一般質問)

質問 保育所の充実のため現在の上辺見保育所を古河赤十字病院跡地に移転してはどうかと考えますが、いかがでしょうか。通園の安全性の確保、またゼロ歳児から3歳児までの低年齢の幼児の受け入れ拡大、定員超過の解消など保育環境の整備が実現されるでしょう。働く女性たちの子育てを援助する有意義な施策と考えます。現在の上辺見保育所用地はユーザー総和の駐車場として利用すれば、センター利用者の利便性の向上が図れます。

答弁 (市長) 古河赤十字病院の跡地は4,000坪ございます。そして、今上辺見保育所の敷地は2,358平米ということですから、約700坪ございます。佐藤 泉議員が言われるようなことで、もし古河赤十字病院の跡地へこの保育所を移して、そして今現在の上辺見保育所の跡を今度は駐車場にすれば、1台当たり7坪とっても100台は優に置けるとということですから、十分ユーザー総和を利用する方も利用しやすくなると思います。



日赤跡地



上辺見保育所

結果ができました !!

古河赤十字病院跡地を「子育て支援の拠点」として位置づけ、平成31年 新上辺見保育所が完成いたしました。

旧上辺見保育所を取り壊すことにより、ユーザー総和の駐車場が70台分確保できました。

子育てのまち「古河」を目指して(少子化問題について)

H19年12月13日(H19年第4回定例会一般質問)



質問 子供を授かりたいと願う気持ちを少しでも支援し、市でも県事業にプラスした形で何らかの支援体制ができないでしょうか。

答弁 当面は県のこの不妊治療費助成事業の周知を図ってまいりまして、プラスした支援につきましては今後の検討課題というようになことにしたいと思えます。

結果ができました !!

平成27年4月より、特定不妊治療(体外受精及び顕微授精)の治療費の一部助成(上限5万円)をすることになりました。

子育てのまち「古河」を目指して(子育て支援について)

H19年12月13日(H19年第4回定例会一般質問)

質問 専門的知識と経験を有する職員の専門性を生かし、軽度発達障害のあるお子さんへの行政対応の向上に努めていただきたいと考えますがいかがでしょうか。

答弁 理学療法士、作業療法士等々の採用の件でございますが、現場と十分話し合っ、必要であれば採用する方向で検討していきたいと思っております。

結果ができました !!

平成27年4月から児童発達支援センターを設置することになりました。理学療法士、作業療法士、臨床心理士を採用することになり、臨床心理士が市内のすべての保育所、幼稚園等に出向いて子ども達への支援をしていただけます。

★障がいをもった子どもたちへ、手厚い支援の要望

支援員の増員を毎年強く、要望しております!!

結果ができました !!

支援員を増員していただきました!!

★白鷗大学と古河市がスクールサポート事業の協定を結びました

古河市教委と白鷗大教育で協力協定締結
古河市教育委員会は28日、栃木県小山市の白鷗大教育学部との間で、大学生ボランティアが小中学校の授業を補助する事業などを推進する協力協定を結んだ。
同市教委は今年度、近隣の大学生が授業の補助や部活動の支援を行うスクールサポーター事業を始め、現在、12人が小中学校計12校で、算数や特別支援学級の授業などで教師を手助けしている。
協定によると、現在、白鷗大から4人が参加しているスクールサポーターについて、大学が学生たちに積極的に参加するように呼びかける。
一方、古河市教委は、全国から入学している学生らが近くの同市で教育実習ができるように便宜を図る。
市は「白鷗大は、教育を志す意欲の高い大学生が多い。市内の全小中学校32校にそれぞれサポーターを置きたい」と期待している。

読売新聞 平成21年10月29日



結果ができました !!

これまでに251名(白鷗大学172名)の大学生が子どもたちの学習支援等で、古河市で活躍しております!!

ごみ減量化について(衣類のリサイクルについて)

H23年12月13日(H23年第4回定例会一般質問)

質問 衣類は燃えるごみとして出されております。ごみとして捨てられている衣類を資源として売却し、新たな財源を生み出すと同時に、燃えるごみの減量化と処分費の抑制を図っていくべきだと考えます。そのために、ごみ収集カレンダーの中に、月1回程度の衣類回収日の新設を提案いたします。

答弁 (環境安全部長)

現在衣類については、可燃ごみとして焼却処理を行っていますが、平成25年度から資源ごみとして分別収集を実施し、リサイクルできるような調整をしていきたいです。



結果ができました !!

平成25年4月から実施されました。
これまで(令和4年度12月末まで)に1,287トンが回収され、衣類の売却益(1,029万円)と処理費の削減分で1,544万円の処分費を抑制できました。
循環型社会の形成とごみを財源に!!

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

市民活動の育成について

H20年6月10日(H20年第2回定例会一般質問)

質問 行政との協働を考えたときに、ボランティアの皆さんの交流の場、情報交換の場として、空きスペースである古河庁舎3階に拠点となる場所(市民活動支援センター)をつくってみたいかができると提案してから1年が過ぎました。設置時期はいつごろになる見通しでしょうか。

答弁 (部長)

今セキュリティの問題だとか、あと団体等の把握、そういったものがちょっと課題がございまして、今現在内部で協議中でございます。



結果ができました !!

平成21年8月に各地区(古河庁舎三階、コミュニティセンター総和、三和庁舎第三庁舎)に市民活動支援センターが設置され、令和3年3月末までの利用人数は1万3千人を超えました。

センターでの利用内容は、「パソコン」や「印刷機」を使って、地域のイベントや会議などの資料づくりができます。また、資料づくり等を打合せする場所として「談話室」や情報の発信として「掲示板」が設置されております。

川戸台遺跡について

H26年3月17日（H26年第1回定例会一般質問）

質問 川戸台遺跡は、東日本でも有数の製鉄・鑄造関連遺跡です。今後、観光資源の大きな目玉の一つとなり得ると思います。ぜひ展示施設も含めた史跡整備を進めてもらいたいのですが、それらを実施していくためには、正規の埋蔵文化財専門職員がいないと国及び県から補助が受けられない状況です。今後早急に、市として正規の専門職員を配置していただきたいです。

答弁（市長）

埋蔵文化財の専門職員、正規職員ということでありますけれども、確かにこの職員がいたならば、補助金その他の面で有利な面もありますし、またこの遺跡につきましてもいろいろな面でプラスになろうと思います。これにつきましては前向きに考えてまいります。



川戸台遺跡

結果がでました !!

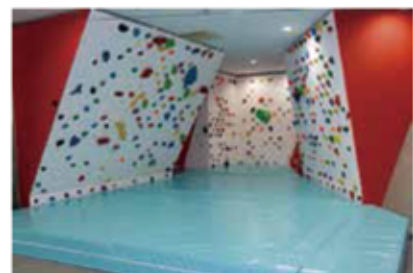
平成27年度に、川戸台遺跡を古河市指定史跡として登録されました。
発掘調査を令和5年度予算要望致しました。今後も発掘を継続し、史料館を新設するなど、観光振興にもつなげればと考えています。

その他、継続して要望しています。

- ・スケートパーク、ボルダリング施設
- ・オーガニック農法の推進
- ・带状疱疹助成制度の確立
- ・待機児童の解消
- ・古河市サッカー場の夜間照明、防護マット設置、エアコン、シャワー修繕
- ・学校給食費の無償化



三木市『三木スケートボードパーク』



『京都アクアリーナ』のボルダリング施設

7つの改革 … 議会改革

議会改革のはじまり…

私が議会基本条例を提案し、議員立法にて制定。
平成27年5月1日議会基本条例が施行されました。



41歳の時に議長就任

議会の信頼性や透明性を確保するため、市民に身近で開かれた議会づくりを目指して次の7つの改革を実践してまいりました。

1、議場コンサートの実施

少しでも多くの市民の皆様には議会を身近に感じ、議場に足を運んでいただくために、議場コンサートを開催しました。これまでに14回開催して、合計444名の市民の皆様をお迎えしました。



(平成29年1月14日 朝日新聞)

2、古河市議会古河未来創造特別委員会の設置

二元代表制である議会が、古河市のまちづくりにおける重要課題について積極的に提言を行う。

- ・日野自動車関連事業について
- ・古河駅東部土地区画整理事業について
- ・新庁舎建設について
- ・その他

これまでに、18回にわたる会議、視察、勉強会を開催。



【平成29年3月17日】

針谷市長へ議会(古河市議会古河未来創造特別委員会)からの要望書を提出。
元文化センター建設予定地に、行政・文化機能が一体となった複合的な公共施設建設等を要望しました。

3、一問一答方式の導入

質問内容に関する論点や争点が明らかで、よりわかりやすくするために採用。

何回でも質問ができるようになりました。

改革3 一問一答方式の採用

平成28年第4回定例会から採用

【目的】

質問内容に関する論点や争点が明らかで、よりわかりやすくするために採用



| | 一括質問一括答弁 | 一問一答方式 |
|-------|----------|----------------------------------|
| 質問回数 | 3回まで | 無制限 |
| 質問時間 | 30分まで | 30分(ただし、全体で80分) |
| 質問の仕方 | 3回とも一括質疑 | 1回目は、一括質疑 2回目以降は、9ヶ月ごとに一問一答方式 |

4、電子採決システムの導入

執行から提出された条例案や予算案に対して、市民から負託を受けた議員一人ひとりが責任や態度を明確にするため。

議案第〇〇号

| | | | | | |
|-----------|---|--------------|---|-----------|----|
| 1番 小山 高正 | ○ | 12番 佐藤 繁 | ○ | 23番 東海 浩夫 | ○ |
| 2番 小森 啓之 | ○ | 13番 佐藤 康 | × | 24番 藤川 昌男 | ○ |
| 3番 古川 一典 | ○ | 14番 澤谷 謙之 | ○ | | |
| 4番 鈴木 啓 | ○ | 15番 成田 松男 | ○ | | |
| 5番 阿久津 俊子 | ○ | 16番 青木 和夫 | ○ | | |
| 6番 稲葉 真大 | ○ | 議長 17番 鈴木 隆夫 | ○ | | |
| 7番 稲見 久典子 | ○ | 18番 岡部 増雄 | ○ | | |
| 8番 大島 信夫 | ○ | 19番 長岡 晋一 | ○ | 投票総数 | 23 |
| 9番 秋澤 繁 | ○ | 20番 赤坂 昌男 | ○ | 賛成 | 22 |
| 10番 高橋 秀彰 | ○ | 21番 増田 悟 | ○ | 反対 | 1 |
| 11番 菅原 聡 | ○ | 22番 岩持 健一 | ○ | 棄権 | 0 |

議案第100号

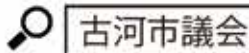
| | |
|------|----|
| 投票総数 | 23 |
| 賛成 | 23 |
| 反対 | 0 |

5、議場のライブ配信

本会議、常任委員会、予算・決算特別委員会のライブ配信を実施しています。

録画配信は、パソコン・携帯端末から、24時間いつでも、だれでも、どこでもオンデマンドで視聴することができます。

(古河市議会のホームページからアクセスできます。)



6、議会報告会の開催

議会活性化と市民に身近で開かれた議会づくりのため、5月20日(土)に議会報告会を開催。多くの市民の皆様に参加していただきました。

○準備組織

議会報告会作業チーム会議を組織。

(議会運営委員会及び3常任委員会代表の14名で構成)

○報告会の企画、資料作成、会場準備を実施

まちの課題、意見交換

古河市議会 初の報告会

古河市議会(佐藤泉議長)は20日、同市下大野の市中央公民館で、市民を対象にした報告会を初めて開催した。参加した約100人に、議場活動を紹介したほか、3月定例会の質疑応答や市政に関する意見交換を行った。市民に身近な議会を目指す姿勢を示した。

同市議会は2015年に「議会基本条例」を制定し、同年5月に施行。これまでに七つの議会改革として、市への政策提言を行う「未来創造委員会」の設置、インターネットを利用した議会の

生中継などを行ってきた。報告会は改革の一つとして、市民に対する積極的な情報発信と意見交換を図る目的で開催された。

出席した議員22人はモニターを使い、議会の概要や改革内容、定例会の審議結果などを紹介。市民からは「三和地区を経済特区にして」「特別会計における議案審議権をいかにしろにせず、議員からの質問を積極的にに行つべき」などの意見が出され、市政に対する関心の高さがうかがわれた。

開会後、同市けやき平、

山口義美さん(64)は「市議が市民と一緒にやってく姿が印象的。議会には活発に活動してもらい、市政のチェック機能を発揮してほしい」と述べた。

報告会と同日の内容を来場者アンケートが市民と一緒に行き、地域や団体(会)に開くなどして継続していく方針

市民と市議が意見を交わした古河市議会報告会
同市下大野

「ほしい」と、今後の開催や議会の活動に期待。佐藤議長は「市民の率直な意見にしっかりと対応したい。開かれた議会として市民の意見を集約し、情報発信にも努めたい」と述べた。

報告会同日の内容や来場者アンケートが市民と一緒にやってく姿が印象的。議会には活発に活動してもらい、市政のチェック機能を発揮してほしい」と述べた。

(漢口正則)

(平成29年5月30日 茨城新聞)

7、政務活動費をホームページにて公表

- 政務活動費：議員一人あたり年間支給額30万円
- 平成28年度分から古河市議会ホームページに収支報告書を公開。

※収支報告書には、領収書の添付を義務化。

古河市議会 透明化進む

政活費使途をHPに 一般質問も常時公開

古河市議会は、議員に支給される政務活動費の透明化を図るため、全議員を対象に今年度分からすべての使途を市ホームページ(HP)で公開する。また、12月議会からは、議員の一般質問の様子も市HP上で常時公開する。様々な改革への取り組みを通じ、開かれた議会づくりを進める。

議会事務局によると、昨年、議員提案により議会基本条例を制定・施行し、条例に基づいて議会内で改革の協議を重ねてきた。

古河市議会の議員数は24人。政策立案に向けた調査研究などの活動のために支給される政務活動費は、同市の場合で議員1人当たり年間30万円。政務活動費の使途を透明化するため、今年度分から全議員を対象に収支報告書を添えて公開することを決めた。佐藤泉議長によると、昨年、議員提案により議会基本条例を制定・施行し、条例に基づいて議会内で改革の協議を重ねてきた。

古河市議会の議員数は24人。政策立案に向けた調査研究などの活動のために支給される政務活動費は、同市の場合で議員1人当たり年間30万円。政務活動費の使途を透明化するため、今年度分から全議員を対象に収支報告書を添えて公開することを決めた。佐藤泉議長によると、昨年、議員提案により議会基本条例を制定・施行し、条例に基づいて議会内で改革の協議を重ねてきた。

議員は市側の答弁に納得できない場合、与えられた質問時間内で何度でも質疑ができることから、市側の答弁の正確度も増し、論点も明確になる。質問の趣旨が不明瞭の場合などは、市長から議員への反問も可能になるという。

また、同市議会は昨年12月議会から会期中に市内在住・在勤の音楽家による「議場コンサート」を開いている。佐藤議長は「市政の活性化にとりて議会活動の透明化は欠かせない。市民に議会への関心を深めてもらうため、可能な限り改革を進めたい」と話している。(吉江直幸)

(平成28年9月2日 朝日新聞)

私が議長の時に提案した
タブレットが導入されました。



私が議長の時に提案
したタブレットが
導入されました。
(令和2年10月)

オンライン会議報告会が令和4年5月23日から
発信されました。



アクティブ・レポート

古河婚活支援会(会長 佐藤泉)主催のお見合いパーティ(愛直便)を開催

少子化対策の一環として行っているボランティア活動報告をさせていただきます。茨城県知事から、**マリッジサポーター**(結婚相談支援員)として委嘱されてから15年が経過いたしました。

これまでに59回のお見合いパーティを開催いたしました。合計1,911名の方が参加、その中から363組のカップルが誕生し、33組がご結婚され、29人のお子様も誕生しております。
※前は女性参加者全員がカップルになりました。



(平成28年10月1日 朝日新聞)





古河市動物愛護協議会の顧問としてボランティア活動中です。
古河市動物愛護協議会を立ち上げ以来、猫215匹、犬7匹、
鳥1羽が里親さんに引き取られました。



パトラン古河の顧問として、
毎週1回パトウォーク
(歩きながらパトロール、
こんぱんのは挨拶運動
& ゴミ拾い) 活動中です。

パトラン古河にて啓発活動(ニセ電話サギ、
空き巣) 古河警察、古河市役所と連携。
令和5年3月18日
パトラン古河主催の防犯啓発活動(特殊
詐欺、空き巣被害)を行いました。
パトランメンバー14人、古河警察署から
8人、市役所(交通防犯課)5人の27人
で啓発チラシを市民の皆様配りました。



フードパントリーのお手伝い



古河史楽会の会員として子ども達
に古河の歴史を知ってもらい、
郷土愛を育てる活動をしています。



渡良瀬遊水地 パークラン (副代表)



石巻市にて

ド・マンナカまつりにて
南三陸町産のホタテを販売。
売り上げは被災地へと届けられました。(H25～)



相馬市磯部小学校にて



南三陸町にて



いろいろな方にご指導いただいております



稲田朋美 衆議院議員と



橋本正裕 境町長と



元巨人軍 仁志敏久さんと



河野太郎、田所嘉徳 衆議院議員と



福岡ゼミにて 福岡政行 先生
田所嘉徳 衆議院議員と



安倍晋三 元総理と



萩生田光一 衆議院議員と



石破茂 衆議院議員と



佐藤正久 参議院議員と



上月りょうすけ 参議院議員と



大井川和彦 知事と



北川正恭 早稲田大学名誉教授と